

## 岩城光英の永田町だより vol.316

今年も、残すところ2週間余りとなりました。寒さの募る師走です。ご自愛願います。

衆議院選挙では、自民党が291人（絶対安定多数の266議席を単独で確保）、連立を組む公明党が35人と、与党が、合わせて、326議席を獲得しました。衆議院の全常任委員会で委員長ポストをとり、委員会内で過半数を制し、また参議院で否決された法案でも、衆議院の2/3で可決・成立させることができるものです。

福島県をはじめ、被災地の復興の、更なる加速化に努めなければなりません。

今号は、選挙の総括を北野湘南先生にお願い致しました。

### 「長期的な景気、外交政策を」

北野湘南

師走の慌ただしい選挙となった衆院選は自民・公明の与党が議席数の3分の2を上回る圧倒的勝利で終わった。景気回復の道を実直に進めるアベノミクスや外交など、安倍政権の一連の政策が、国民から強い支持を受けたことになる。安倍首相は、国民からの信を背景に、これからの政権運営では景気対策だけでなく、長期的な視野に立った外交・安全保障問題でも思い切った政策を打ち出すのは確実

だろう。

選挙の最大の争点となったのは安倍政権の看板ともいえるアベノミクス（景気対策）。安倍首相や自民・公明両党は、民主党政権時代に比較して、146万人の雇用が増大し、4%台だった失業率も3%台にまで回復したことや、1に満たなかった有効求人倍率も、求人が求職者を上回り1を超える水準で推移していることなどを挙げて「雇用面でも景気回復は明らか」と、アベノミクスが着々と成果を挙げつつあることを強調した。

これに対して最大野党の民主党は、雇用の多くは非正規労働者であり格差が拡大するばかりだと強く批判した。また、中小企業や地方などにアベノミクスの効果は及んでおらず、明らかに失敗とまで酷評した。確かに増えた雇用の多くは非正規労働者が占めている。

しかし、民主党時代には非正規労働者さえも増加しなかった。今のところは、地方の隅々にまでアベノミクスの恩恵が及んでいないこともある。だが「民主党政権時代のように先行きが全く見えない時に比べて何とか明るさが見えて来た。少しずつだが回復の気配を感じる」とする地方は多い。「環境は良いとは言えないが、改善の光がちらつくようになり民主党時代とは大きく変化した」と見ている中小企業も増えている。

アベノミクスの効果を端的に表しているのが、企業業績だ。SMBC日興証券がまとめた一部上場企業（除く金融）の14年中間決算（4月～9月）は、前年同期に比べて売上高4.9%、企業の経営状況を最もよくあらわすとされる経常利益12.5%、純利益7.6%増となった。また、来年3月期の通期の見通しを上方修正した企業は302社。

これに対して下方修正した企業は 204 社。前年同期はアベノミクスの効果から円安が進み、輸出産業を中心に企業業績が大きく回復した時期に当たるから、依然として企業業績が順調に回復していることは一目瞭然だろう。

景気の先行指標とされる株価は、民主党時代の 8000 円前後から最近では 1 万 7 0 0 0 円台と 2 倍以上に上昇している。株式市場では自民・公明の連立政権が、圧倒的な勝利をすることは織り込み済みとなっていたことから、選挙直後の株価は上昇しなかった。

しかし、市場では延期した消費税を引き上げる前までに景気回復を軌道に乗せる必要があることから、安倍政権が一段と景気対策に力を入れるのは確実との見方でほぼ一致している。こうしたこともあり、株価は年内に 1 万 8 0 0 0 円、来春に 2 万円台にまで上昇するとの観測が、有力になっているほどだ。

安倍首相や自民党幹部が、選挙で訴えたようにアベノミクスの効果は確実に表れており、これから地方や中小企業にまで波及する寸前まで来ているのだ。ここで止めたら元の木阿弥になると多くの国民が感じた結果が、与党の勝利につながった。

しかも、民主党を中心とする野党の殆どは、批判をするがこれに代わる対案は 1 つとして打ち出せなかった。対案が打ち出せなかったことでは景気対策だけでなく安全保障や外交でも同じだった。一部のマスコミと歩調を合わせるように民主党などの野党の多くは「安倍政権は戦争への道を歩んでいる」「戦争が出来る国にしようとしている」などと国防の“イロハ”も知らない平和ボケの批判を繰り返し

た。国民の多くは日本固有の領土である尖閣諸島を、公然と自国の領土と宣言し、日常的に日本の排他的経済水域に艦船を侵入させるだけでなく、首都東京の目の前の海で繰り広げられた大量の中国漁船による違法なサンゴ漁を見せつけられ、中国の脅威を肌で知らされた。それと同時に日本の国防力の強化を認識するようになっている。

民主党政権は、中国の不法行為に目をつぶり、有効な対策どころか安全保障の要である日米関係まで悪化させた。心ある国民は、民主党に政権を任せていたら日本がどうなるか分からないとして心の底から心配した。そんな時代に二度と戻してはならないとの思いが、与党が 3 分の 2 を占める圧倒的勝利につながった。

多くの国民が政府・与党、安倍政権に期待しているのは、まず景気回復を軌道に乗せ、日米基軸同盟をより強固にして安心・安全な日本にしてもらいたいということだ。今回の大勝で安倍政権は、長期政権の基礎を築いたから長期的な視点に立って確実に実行していけば国民の期待は、実現するだろう。日本人は、第二次大戦の戦禍を乗り越えて世界有数の経済大国を築き上げた。少子高齢化、財政再建など日本の進む道は厳しいが、必ず明るい未来が見えてくることも間違い無い。

ただ一つ気になるのは最近の自民党に圧倒的多数から来る「ゆるみ」が、目につかないといたらウソになることだ。安倍政権は、国民の期待に応えるためにも「勝って兜の緒を締めよ」の教訓を忘れてはならないだろう。